

観の眼



第72回 愛媛国体 剣道大会 準優勝

卷頭言

- 特集1 全剣連後援 三道指導者講習会 1
特集2 中学校授業協力者研修会 9
大会結果 愛媛国体準優勝 11
都道府県大会 三位 11
都道府県対抗少年剣道優勝大会 12
東海四県 剣道・居合道優勝 12
中高年剣道大会 14
高齢者剣道稽古会 14
6団体対抗剣道試合 15
全日本選抜剣道八段優勝大会 17
居合道だより 18
杖道だより 18
女子部だより 19

一 目 次

- 歴史探訪 21
実業団だより 22
道場連盟だより 24
中体連だより 26
高体連だより 28
地区だより 28
平成29・30年度役員 33
おめでとう 33
審査料・登録料 36
五地区剣道連盟所在地 36
愛知県剣道連盟ホームページ 37
編集後記 38
平成30年度事業計画 39

第42号



一般
財
團
人

愛知県剣道連盟

愛知県剣道連盟の皆様方に
は益々ご健勝のこととお慶び
申し上げます。

ご承知の様に平成三十一年
四月三十日この日をもつて三
十年間続いた平成時代も幕を
下ろすことになりました。翌
五月一日には新しい年号が制
定されます。

こうして私は、昭和の時代、平成の時代そして新しい年号へと三時代を生きることになります。

さて私事で恐縮ですが 私は
竹刀を握つてから65年になりました。昭和二十八年四月、中
学三年生のときに「しない競技
クラブ」が発足しました。クラ
ブの中身もわからぬまま親
しい友人3人で入部しました
が、中学校での部活としては、
はやかった時期だと思います。
この時はまさか後々剣道漬け
になるとは予想しませんでし
た。

その後、縁あつて東レ名古屋工場に入社。当時東レは全社的に剣道が盛んで、私も即剣道部に入りました。月曜日から金曜日まで、勤務終了後、稽

劍道講習会

全剣連後援
二道指導者講習会開かる

特集①

平成二十九年九月三日（土）

平成二十九年九月二日(火)
九・三〇・一五・〦

で開催されました。

講師には
全剣連派遣講師として奈良県から、
上垣功範士八段

地元講師として、岡田眞直教士八段
日置介二教士八段に担当して頂き

ました。
剣連からは、

冒頭挨拶
冒頭挨拶
冒頭挨拶
冒頭挨拶

(一)は、女子で内数
小中体連 10名(3名)
日本連 10名(3名)

尾	張	高	体	連
南	河	東	三	名
合	西	三	河	古
計	河	河	屋	屋
83	13	14	9	17
名	名	名	名	名
(15 名)	(3 名)	(4 名)	(2 名)	(2 名)
			(1 名)	(0 名)

間半が稽古時間でした。なにせ部員は戦前に剣道をやつていた方ばかり。荒く激しい練習で、毎日が切り返しと掛かり稽古の連続でした。この間不思議と稽古がえらいからやめようとか全く思つたことはなかつたですね。若かつたですからね。

私が所属する剣道部は全日本実業団や中部実業団とかの連盟組織へと発展していきました。昭和三十三年第1回全日本実業団剣道大会が開催され、我々の東レ名古屋が優勝するという快挙を遂げました。私が十九歳の頃です。この大会の優勝が引き金になつたのでしようか、私の剣道は練習・試合の連続で一心不乱に突き進むこととなりました。気が付けば結果的に剣道歴5年間

となつたのです。この間多くの大会に出場しました。国体には20回出場、毎年開催される大阪での都道府県対抗剣道大会では愛知県優勝に貢献、東西対抗戦出場、さらには地元名古屋での都道府県選抜剣道優勝大会には2回優勝等々よく頑張ってきたものと思ひます。

こうして65年間続けてこら

音に燃えた剣
今は静か老境の剣

豊
北 村

法人 愛知県剣道連盟相談役

れた大きな要因は何だつたのか。それは、家族の理解の元、いつも剣道が身近にあり、自分でも気がつかないうちに日常生活の一部に組み込まれていたのではないか。幸いにしてこの永い間に入院する様な大きな病気もせず、ケガもなく過ごしてこれらのことであつた様に思ひます。さらには素晴らしい、市立病院であります、近畿大

雄先生（範士八段）、榎原正先生（第一回全日本剣道選手権大会優勝、範士八段）との出会い、励まし合った友人・悪友達にも恵まれたことが大きな要因でなかつたかと思います。65年もやつていると色々なことがありました。勝負にこだわつた頃は竹刀を見るのも触るのもいやな時もありましたが、今は昔、懐かしい想い出ですね。

こうして、私も今年で79歳になりました。この歳になりましたと身体のどこかに悪い所が出てきます。私は20年程腰痛に悩まされています。医者は身体の筋肉を固くさせないためにも稽古を続けた方が良いと言います。しかし無理をして翌日身体が痛くて起きられないと程やるのは駄目とも言われます。その通りだと思います。体調の良いときも悪いときもありますが、これからも剣道を大切にしながら、竹刀の振れるうちは楽しく、無理なく、みな様に迷惑を掛けないよう、生涯剣道を目指して稽古に励んでまいりたいと思ひます。

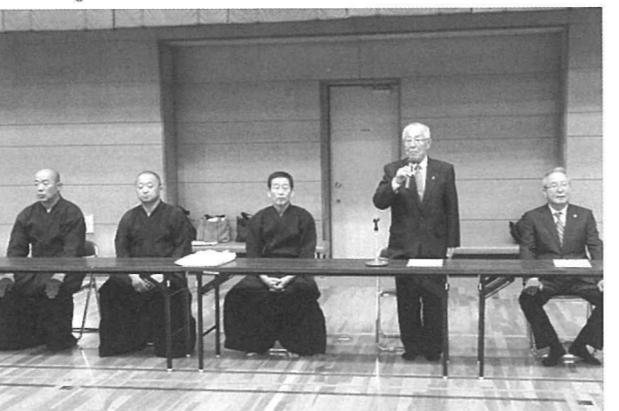


卷之三

一 段材 团 法人 愛知県剣道連盟相談会

青春は燃えな角

1



左から日置講師、岡田講師、上垣講師
富田会長、大嶽理事長



具体的な事例を挙げて解説される上垣講師



熱く、真摯に指導された、3先生

には修練であり慣れることが必要となります。審判をすることは、責任は重いです。命がけでやっているということです。剣道も大会の大小にかかわらず、立行司の覚悟でやらなければなりません。

旗の表示は、しっかりと行うこと。所作動作をいい加減にやらないこと。中央が上垣講師

持つて行き、疑問や質問が出た時に確認する様に努めてください。

有効打突の有無に、問い合わせる
上垣講師



上垣 功 範士八段の	
プロフィール	
昭和21年9月11日生	71歳
一般財団法人奈良県剣道連盟	副会長
大阪工業大学卒	
元奈良県川上村教育委員会	
社会教育専門員	
奈良女子大学 剣道部師範	
全日本選抜剣道八段優勝大会	出場
全日本剣道選手権大会	出場
全日本東西対抗剣道大会	出場
全日本都道府県対抗剣道優勝大会	
3位1回	
国民体育大会	2位1回、3位1回

- (5) 相撲の立行司は、腰に短刀を身につけておりますね。何のためにですか? 「差し違いをしたら、切腹する」という覚悟です。命がけでやっているということです。剣道も大会の大小にかかわらず、立行司の覚悟でやらなければなりません。
- (6) 試合でみかけることですが、礼法はしつかりやらること。竹刀をまたぐことはなぜ悪いのか? こういうことは道場でしつかり教えてください。
- (7) 審判は、自分が正しく判定すること。
(審判) やらせて頂いている気持ち。
- そんなこと分かっているわ、という人がいるかも知れませんが、そうで無く初心の気持ち・白無垢の気持ちでやつて欲しい。
- (8) 審判員はベストの体調で臨むこと。
稽古に没頭してきます。
- 試合者は時間を掛けて、心技体のもと、稽古に没頭してきます。
- 審判員がどのように判定するのか? 前日不摶生して審判する等はとんでもない事です。自分の技術をベストに持つていくこと。
- それには、普段から体調を整えること。全剣連では日本各地で行われる大会前

- (9) 皆さん、このような(手でかざす)
「剣道試合審判規則・細則」や「剣道試合・審判・運営要領の手引き」を持つていますか? もつていない方は手を挙げて! (出席者の30~40%の者が所持していない)とにかくこの2冊を熟知してくださいようにしてください。
- また、これらのものを必ず試合の時に



- (10) 「有効打突」の要件を知っていますか? 審判規則第12条の所です。即ち、有効打突は、充実した気勢、適正な姿勢をもって、竹刀の打突部で打突部位を力筋正しく打突し、残心のあるものとする。と、こうあります。この事は絶対に頭に入れておかなければなりません。この後、審判の実技を行いますが、判定をする時には、剣道用語を使って理



- (11) 由を説明していただきます。表現の仕方を含めて納得できる説明を願います。
- (12) つぎの審判員の待機時の姿の件です。腕組みしたり、脚を組んだり、だらしのない姿勢態度は資質に欠けるとみられます。審判員としての信頼を損なう態度は厳に慎んでください。
- (13) 反則かどうかの見極め方をしつかり行う事。
- 例えば、鍔競り合いの際に、鍔と鍔の競り合いになっているか? 小手と小手の接触ということは正しくありません。正しい鍔競り合いをしているかどうか。鍔競り合いが続くときに打突の意思があるのか? 別れる意思があるのか? 膠着状態になつていれば、分かれ・始めの宣告を速やかに行う。安易に分かれをかけない様にすること。
- 一本を取つた後、勝ちたいために時間の空費を見逃さない。押し出したのか、場外に出たかの判断は、早く表示すること。このあたりの事も、資料の【反則事項の見極め】に記述してあるので、良く読んで理解しておいてください。
- (14) 審判の所作等について、審判員の姿勢、旗の保持の仕方、旗の表示要領、旗の解き方巻き方、審判員の移動と交代審判員の定位置、団体試合の整列の方法、その場での審判員の交代、終了した審



熱く指導される、日置講師



丁寧に指導される、岡田講師



- (1) 審判の判定について、3審判員の判定について、講習生全員で今の判定は正

- 2会場をつくり、受講者全員が審判(主審・副審)と試合を体験する様にしました。
- その時々の判定や所作等に関して、上垣先生はじめ講師の先生方からの指導発言を見聞きしたので整理してみました。

- 判定を、1人1人にその理由を訊ねる、上垣講師。厳しさの中にもユーモアが。
2. 審判実技で学んだ事
- 2会場をつくり、受講者全員が審判(主審・副審)と試合を体験する様にしました。

- 上垣先生はじめ講師の先生方からの指導発言を見聞きしたので整理してみました。

しかったのか、重ねて言いますが、第12条の、有効打突は、充実した気勢、適正な姿勢をもって、竹刀の打突部で打突部位を刃筋正しく打突し、残心のあるものとする。という部分について、周囲の審判員全員で判定。これに対して、上垣先生に対して、なぜ赤を上げたのか、なぜ白にしたのか？試合場の中央に全員を集め、質疑応答を繰り返しました。これは判定精度を高める狙いがあります。

②判定が遅れると、試合の流れは次へと進むため、折角決まっていた有効打突を結果的に見逃す恐れが生じるので、その時その場で適切な判定をしなければならないことを強調された。

③審判員が、試合者の片側だけに集まってしまう場合があり、今回も主審、副審の位置取りについての移動の仕方や、止むをえないケースが出た場合は、止め！を掛けて開始線に戻す、そのための対応方法について、講師の先生から解説された。（多くの受講者は、位置取りについてだいぶ悩まれた様）

④審判の所作等について、特に審判員の姿勢、旗の保持の仕方、旗の表示要領、旗の解き方巻き方を事細かに教えられた。移動の際の、旗の持ち方はズボンであれば、左右横の筋に両手をつけ、旗は力を入れずに床を真下に刺すよう



謝辞を述べられる、大嶽先生

このような高度な審判法に関する講習会に出席していない人もまだ多くいるものと思いますので、今後開催される本講習会を学ばれることを望みたいと思います。

（取材・文責 大崎）

受講者の皆さんからの所感

【大政隆之さん】

（尾張・七段、会社員）

域でも行われていると思いますので、積極的に参加し、指導者の立場、受講者の立場で研鑽努力をされるよう要望します。

また、この種の講習会が、各地区、地域でも行われていると思いますので、積極的に参加し、指導者の立場、受講者の立場で研鑽努力をされるよう要望します。

（取材・文責 大崎）



「打突は目で見て、心で観て、耳で聞く」。これも大変含蓄があり、審判もひとつ修業だと思いました。

今後は講習会で学んだことを活かして、試合者と一体となり、観る人も感動させるような采配ができる審判を目指したいと思います。

奈良の上垣範士をお招きした審判講習会に参加しました。私も地域の試合審判を行う機会がありますが、所作や一本の判断などで悩むことが多いので大変勉強になりました。

上垣範士の大和弁での説明は、先生の人柄が出て、とても面白くわかり易かったです。

この講習会で特に印象に残ったことは、「審判は相撲の行司の如く、覚悟を持つて臨むこと」「玄妙な技を積極的に取ること」ということです。試合者の剣道人生を左右しかねない審判。その覚悟を持つて臨んでいたか。また、玄妙な技を取れなかつた言い訳をしていなかつたか。上垣範士の言葉に自分を振り返ることができました。

また、「試合者の所作にも注意すること」と。例えば中断してから開始線に戻る時の竹刀の持ち方など細かな点に気を配ることは指導法につながる」という言葉も大変参考になりました。

最後の参加者全員での回り稽古では、様々な先生方と剣を交え、貴重な経験ができました。

今後は講習会で学んだことを活かして、試合者と一体となり、観る人も感動させるような采配ができる審判を目指したいと思います。



【和田布美子さん】
(名古屋・六段、主婦)

①上垣先生のお話は、厳しくも優しく、時にはユーモアがあり、とてもわかりやすく審判の重要性を再認識することができます。私も経験を多くふんで欲しい。

②始めて、審判をするあたり重要なことは：お話をされる中で、とても印象に残ったことは「道場は恥をかく場である」という言葉でした。

「今日は皆しつかり恥をかくように！」とも。

③私は何度も色々な講習会に参加していますが、講習会の中で審判を行なう際に毎回疑問に残ることが出てきてしまします。

④私は度々お話をされる中で、とても印象に残ったことは「道場は恥をかく場である」という言葉でした。



【中村進一さん】
(談話)

（尾南・七段、警察官）

①印象に残ったお話しとして、相撲の行司が腰にさしている短刀は、差し違えたたら切腹して責任をとる、ということを初めて知りました。

②立ち姿、旗の持ち方などを細かく教えて頂けたことは良かったです。

③審判の立つ位置の難しさを改めて知りました。特に試合者が主審側とその反対側になった際の、3人の審判の位置を取りを学ぶことができました。

④試合者と観客、審判員が一体になることも大切なことだと思います。



大嶽先生より、玄妙な技を見逃すな！の厳しい指摘

三先生を軸に、3列の組み合わせをつくり、まわり稽古を実施しました。
進んでいくので、判定の遅れが無いよう注意すること。見逃すと試合が長引く。

4. 稽古

上垣先生のご指導と重複する箇所がありますが、非常に参考になりますので記述します。

①有効打突の中で、玄妙の技による打突がありますが、例えば少々軽いな？と思つても見事な技であればとつてやるよに心掛けること。子ども達でも、玄妙な技を出す者もあり、もしとならければ使わない様になってしまいますから要注意！

玄妙な技は自分でもやつてみせる、自分でできない技を見極める、自身の技術を磨く様に努力をすること。（本件は、大嶽先生が特に強調されました）

②審判旗は自分の物を持つこと。また、剣道試合・審判規則や手引き（剣道試合・審判・運営要領の手引き）の本は持参しておくこと。

③打突後、試合者が開始線に戻るまで、目で追うこと。

④つぎの試合者が、試合場の線上や中に入っている場合に入れない。そこまで見

ること。

また、中結が不良なら竹刀を替えさせます。提刀の時、鍔元を持たない場合には、持ち方を注意すること。その時々で規則などに違反する場合は即厳しく注意すること。

⑤審判員は見える位置に立つこと。見えない位置を自分でつくるな。3人の連携、位置取りに注意。

主審はたえず中心にいる、早く中心をとる。予期して動くこと。

⑥一本の要件を見定めること。目で見る、耳で聞く、これからは経験を多くふんで欲しい。

自分が審判でなくとも自分がやつていれるつもりで見ていく。試合はどんどん



稽古をつけられる、上垣先生（中央）



【岡本 誠さん】

(中体連・五段)

知多市立旭南中学校剣道部顧問)



①私にとっての研修会での大きな学びは、講師のおっしゃった「誤審は、生徒や児童の人生を左右することもある」という言葉です。私の胸に突き刺さりました。

誤審により、生徒または児童が試合者の場合、剣道に対して疑心暗鬼を生み、剣道自体から遠ざかってしまうこともあります。

大人に対する不信感を増大させ、人生そのものに悪影響を与える恐れもあります。

②剣道では、特に試合者に対して、ルールの遵守、公明正大な態度、礼法などを指導し、注意を向けます。しかし、本当に大切なのは、試合者よりも試合を司る審判員の態度なのです。試合者は真剣勝負です。その真剣勝負の行方を司るのが審判員です。とてもなく大きな重責があります。試合者以上に真剣勝負の気構えを持たなければなりません。

③剣道指導者は、剣道を教えるだけではなくて、人に言う前に自らを省みなければなりません。繰り返し自らの態度や心構えを確認し、反省を行う態度を必要とします。

このたびの研修では、私自身の自らの在り方を問い合わせたい機会となりました。率先垂範の精神で、積極的に剣道を学び、生徒たちとともに歩みます。

りません。

日に市町の試合があり、今講習で教えていたい「審判をやさせていただく」ことばかりでした。試合者と審判員に分かれての実践の中でも難しかったのが、試合会場の端の方で試合が展開された場合の位置取りでした。審判員の基本的な位置取りは、試合者を中心におき、主審を頂点とした二等辺三角形の形成ですが、この場合、副審を頂点とする二等辺三角形で対処する事で、審判員の移動距離を最小限にする事が出来、なおかつ試合を中断する事なく運営出来る、といふものでした。実際に主審として自分がその状況になつてみると、うまく対処する事が出来ず死角が出来てしまい、試合を中断させてしましました。主審の迅速な判断と、何よりも審判員同士の呼吸を合わせる事の大切さを学びました。講師の上垣先生のお人柄もあってか、終始和やかな中にも的確な指導があり、非常に充実した1日でした。講師の先生方、ありがとうございました。

やかな中にも的確な指導があり、非常に充実した1日でした。講師の先生方、ありがとうございました。

【喜多寿栄さん】

(西三河・五段 主婦)



(写真上) 草間純市先生より挨拶
(写真右上) 刀法に関してポイントを説明される草間先生
(写真右) 対敵動作を詳細説明する草間先生と木ノ本先生

①初心者の私にとっては、非常に勉強になることばかりでした。試合者と審判員に分かれての実践の中でも難しかったのが、試合会場の端の方で試合が展開された場合の位置取りでした。審判員の基本的な位置取りは、試合者を中心におき、主審を頂点とした二等辺三角形の形成ですが、この場合、副審を頂点とする二等辺三角形で対処する事で、審判員の移動距離を最小限にする事が出来、なおかつ試合を中断する事なく運営出来る、といふものでした。実際に主審として自分がその状況になつてみると、うまく対処する事が出来ず死角が出来てしまい、試合を中断させてしましました。主審の迅速な判断と、何よりも審判員同士の呼吸を合わせる事の大切さを学びました。講師の上垣先生のお人柄もあってか、終始和やかな中にも的確な指導があり、非常に充実した1日でした。講師の先生方、ありがとうございました。

【小島克枝さん】

(東三河・六段・公務員)



今回の講習会ではとても勉強になりました。何点か指導してもらった事や感想を述べてみます。

①審判旗を持つて入る際、頭を下げる(目線を下げながら)入ってしまった。

②三人の審判員が試合場に入る際、頭を下げる(目線を下げながら)入ってしまった。

③試合者の動きの中、審判員の動きが遅れると、有効打突を見逃す可能性があると再認識。

④有効打突時の審判旗を上げるタイミングで他の審判員に比べて遅れると試合者や応援者に不信感を抱かせる原因になるのでいけないと思った。

⑤相手になった場合があり、先に打突している試合者でも面金を打突しては一本にならないと指摘があり、有

今までに無数の審判をさせていただきてきたわけですが、今回の「審判法」の講習に参加させていただき、位置取りや作法の再確認はもちろんですが、特に胴打ちに関しての有効打突の共通理解ができました。今までの自分は果たして正しかったのかと搖らぎ、冷や汗の連続でした。このような公的ななり分けの場は絶対に必要です。少しずつのずれを修正する講習会に審判員は参加すべきです。翌

街中クリスマスモードの昨年十二月二十三日、二十四日の二日間、名古屋市中スポーツセンター・枇杷島スポーツセンターに於いて全日本剣道連盟居合の講習会が開催されました。

例年五段以上の参加資格ですが、今年は三段以上の強化選手を含め1日目87名、2日目83名の参加があり、今までの最多となりました。

最後に大嶽理事長より、

「まさに真剣そのものの指導でした。また来年も東海四県連覇目指して更なるご健勝を祈念します。」と、お礼の挨拶と激励で閉会しました。

追記 この講習会の成果もあり、東海四県居合大会において、三連覇できました。草間先生、選手の皆さんありがとうございました。

講師の一昨年に引き続き全剣連派遣講師の、新潟県の草間純市先生。開会式では富田会長より、「皆さん日々稽古に励んで交流を深められ、東海四県居合大会二連覇しており、もう一

(写真上) 草間純市先生より挨拶
(写真右上) 刀法に関してポイントを説明される草間先生
(写真右) 対敵動作を詳細説明する草間先生と木ノ本先生



杖道講習会

杖道委員長 前田 新吾

平成二十九年十月二十二日（日）刈谷市体育館武道場において、全剣連から村上直隆先生（杖道教士八段）を派遣講師としてお招きし、愛知県杖道講習会が開催されました。

当日は台風21号の影響で朝から雨が強くなり、開催が危ぶまれましたが、多くの熱心な参加者のお陰で、無事開催することができました。

杖道講習会は、数年前より、愛知県剣道連盟から中部地区各剣道連盟にも参加を呼びかけていたところ、今回、静岡、三重、富山、石川の各県から二十八名の参加を受け、受講者は総勢五十三名となりました。

台風の接近により、今後風雨が更に強くなると講習を早めに切り上げなければならなくなることから、当初九時半開始の予定でしたが、受講者の集合も早かっただけ、その中で特に、気合いをはつきり出すこと、体軸をしつかりとして正しい姿勢をとることなど注意をそえられました。

講習も順調に進みましたが、午後4時近くになりますと、風雨が一層強くなつてきましたため、遠方からの参加者の帰宅の足も心配されることから講習を終了しました。

講習にあたつて村上講師から、今日話したことを見本にして、気合を十分に出す稽古を重ねるように、と講評をいただきました。一日だけの講習でしたが、講師の熱意ある指導と、受講者の真摯な受講態度で充実した講習会となりました。当日は、台風の接近と、体育館が衆議院選挙の開票所となつたこともあり、講習会の開催に困難な点もありましたが、愛知県剣道連盟及び西三河剣道連盟の先生方のご尽力により、無事開催できましたことを感謝申し上げます。

特集② 中学校 授業協力者研修会 教育現場で 生きた指導を学ぶ

平成三十年一月二十三日（日）豊橋市立南陽中学校において、標記研修会（公開授業）が行われました。

参加者はつぎの通りです。（敬称略）

主催者側・竹原勝博

（豊橋市内の中学校教諭）

教育委員会・石川立恵

（豊橋市教育委員会）

県剣道連盟・尾野博之

（指導普及委員長）

教育委員会・相馬成美

（豊橋市内の中学校教諭）

実施者側・岩瀬雅洋（南陽中学校校長）

（コーディネーター）

授業参観者・教職員

各地区の授業協力者

33名

実施者側・岩瀬雅洋（南陽中学校校長）
（コーディネーター）



現状を説明される、相馬先生と岸先生（左）



全剣連 竹原先生挨拶
より、趣旨説明がされる



示範される、岸先生（手前中央左）と相馬先生



豊橋市内の中学校の先生方も、真剣に受講しています



杖道講習会に参加された皆さん

選手を信じて戦った、愛媛国体
まずはじめに、準優勝という素晴らしい成績を収められることについて、選手はもちろんの事ですが、愛知県剣道連盟事務局のきめ細かなサポートのお陰だと心より感謝申し上げます。

さて、試合を振り返ってみると、私の役目というのは「ただ、選手達を信じる」何も言うことなく、試合を見守る事だけに徹しておりました。

ただ、決勝戦は地元愛媛県との対戦となり、はじめて選手達を集め「勝つても負けても正々堂々とした姿を見せていく」ということだけ伝えました。

結果は、準優勝となりましたが、愛知県選手達の戦いぶりは優勝に匹敵するぐらいたる、頼もしい姿がありました。



愛知県総監督
尾野 博之

第72回 愛媛国体 大会結果 準優勝



第72回 愛媛国体剣道大会 平成29年10月3日 愛媛県武道館



第65回都道府県対抗剣道優勝大会 平成29年4月29日
エディオンアリーナ大阪（大阪府立体育会館）優秀選手：中村隆信

決勝戦に臨む 愛知県チーム

総監督	尾野 博之
大将	大河内鉄彦
副将	近本 巧
中将	津田剣太郎
次將	木谷 洋亮
先鋒	田村隆太郎

第65回 都道府県 愛知県二位

監督	東 良美
先鋒	小柴直樹（桜丘高）
次鋒	久田松雄一郎（早稲田大）
5将	海野祐介（名古屋刑務所）
中堅	宮地広樹（佐織工教）
3将	木谷洋亮（愛知県警）
副将	曾根武仁（愛知少年院）
大将	中村隆信（愛知県警）



熱心に、生徒の動きを見る、授業協力者の皆さん



面打ち練習する、生徒の皆さん



杉浦先生からは、全剣連の指導要領に関する資料の説明がありました



岐阜県より参加された、福富保博先生（右端）



授業者 相馬 成美

武道には剣道・柔道・相撲などがありますが、剣道は「基本の型」（面・小手・胴）が決められており、技能が習得しやすいことから、段階的に技の達成感を味わうことができる単元です。

そこで、第1学年では、「基本の型」となるポイントを理解させ、正しい打ち方を身につけ、個人の技能を高めることを主として学習させたいです。そして、第2学年では剣道の理念である「礼に始まり礼に終わる」礼儀作法を正しく行いながら、試合形式の体験ができるよう、段階的に指導をしていきたいと考えます。

第1学年では、基本技能として「中段の構えから面打ち」までを全員が経験し、剣道を身近な武道として感じてもらいたい。そして「2年生になつたら、相手と打ち合つてみたいな」という意欲につなげたいと思います。

「誰に対して、どんな思いで」挨拶をするのか。相手がいる剣道ですから、双方が真剣に構えないと良い間合いがとれず、良い稽古になりません。相手を敬う気持ちがなければ粗野な振る舞いになる。そのようなことを、折に触れ伝え戒めています。

授業での剣道とはいって、一般的な稽古はしてもらうべき重要なことだと思います。しかし限られた時間内で技術的習得を目的とするのは無理と判断したところから始めました。



授業協力者 岸 豊

愛知県勢 初の三位

愛知県監督 内田信之

平成二十九年九月十七日、台風が接近している中、ぎりぎりまで開催が危ぶまれていましたが、無事大会が開催され、愛知県予選を勝ち抜いた選手達は喜びをかくしきれませんでした。六月に愛知県予選が行われ、5名の精鋭が勝ち上がり全国大会の切符を手にしました。

オーダーは、私が決めました。先鋒柴田唯風（斎年寺道場剣志会）、次鋒森島一稀（洗心道場）中堅西岡伽弥乃（岩倉武道館）、副将佐藤良磨（洗心道場）、大将加藤匠（洗心道場）。選手決定後は、早速強化練習を行いました。強化の目標を三点掲げました。

強化目標を定める

1点目

3名は洗心ですが、2名は道場が異なり、また、女子ですので、チームワークを良くするために、食事会、週1回の洗心道場での特別稽古、遠征等で触れ合う時間を多く作り、お互いの信頼関係を築く努力をしました。

2点目

攻めて勝つ、気迫と先をかけ、積極的な剣道をすること。

恐怖心を無くし、繋ぐ剣道を心がける。全国大会の場で、自分の実力以上の剣道を披露できるよう指導する。以上のことを念頭に大会直前まで厳しい稽古に取り組んでまいりました。

ミーティングで心を一つに

大会前日の会場での練習試合では、積極性はあるものの、相手の事を考える余裕がなく理合に関係なく試合を運んでいました。そこで夜のミーティングでは、君達は愛知県代表選手で、しかも厳しい稽古をしてきたのだから、自分を信じて攻め続けなさい。そして、自分の次に戦うチームメイトを信頼して、一つでも後ろへ繋げられるような試合運びをするようにと指示を出しました。

自分を信じて、仲間を信じて

さて、大会当日、予選リーグでは、愛知県・岩手県・鳥取県の3県での戦いで、初戦岩手県には、3対0で勝利。続く鳥取戦は1対1の本数勝ちで何とかしき、決勝トーナメントでは、初戦奈良県を2対1で勝利し、次は優勝候補の大坂でしたが2対1で何とか勝ちました。やっとベスト4だと思いましたが、顔には出さず更に上を目指しました。しかし、岡山県との対戦は試合運びにまさる相手に、3対0と大敗でした。しかし選手達は努め

力を続け、仲間を信じ、プレッシャーと正面から向き合って、「道は拓ける」この素晴らしい事を今回の大会を通じて学ばせていただきました。今回の大会の結果は、更に翌年からの躍進になると確信しました。

ご支援を賜りました、愛知県剣道連盟、選手の道場指導者やご父兄の皆様、本当に有難うございました。選手5名は益々剣道が好きになり、必ず将来愛知県の剣道に貢献してくれると思います。今回貴重な経験をさせて頂き感謝しております。有難うございました。

確信しました。

選手の道場指導者やご父兄の皆様、本当に有難うございました。選手5名は益々剣道が好きになり、必ず将来愛知県の剣道に貢献してくれると思います。今回貴重な経験をさせて頂き感謝しております。有難うございました。

強化訓練の成果を発揮

平成三十年三月四日、三重県津市産業スポーツセンター内サオリーナ、サブアリーナにおいて、第63回東海四県对抗剣道大会、第23回女子対抗剣道大会、第23回居合道大会が開催されました。愛知県チームは、男子剣道が四連覇、居合道は三連覇を果たし、女子剣道は接戦の末、惜しくも連覇を逃し、3位という結果でした。

剣道、居合道とともに、この大会に向か強化訓練を重ねてきたことがこの好成績に繋がったと思います。愛知県勢として今後各種大会に向け、意義ある結果となりました。

この結果に満足することなく、個人が自己的の研鑽に努め、愛知県全体に繋がることが大切です。

終わりに、会長、理事長はじめ、強化委員長他関係者各位に感謝と御礼を申し上げます。



剣道監督
山崎 尚

東海四県 剣道・居合道優勝

女子剣道は三位



東海4県対抗 剣道・居合道 選手名・全勝賞

居合道

先鋒	高橋秀徳	(無双直伝英信流)
次鋒	前田剛	(無双直伝英信流)
七将	田中大夢	(無双直伝英信流)
六将	中村誠	(新陰流)
五将	立石好美	(航空自衛隊)
四将	渡口剛	(大同特殊鋼)
三将	森本善仁	(大同特殊鋼)
六将	曾根武仁	(愛知少年院)
五将	清水基史	(愛知県警)
副将	北原健	(名古屋刑務所)
大将	中山睦友	(トヨタ自動車)
全勝賞	高山敏宏	清水基史
大将	石原たまみ	(三好高教)
副将	甲斐幹渉	(夢想神伝流)
大将	東朱美	(新陰流)
全勝賞	高橋秀徳	甲斐幹渉

剣道男子

先鋒	高山敏宏	(東レ名古屋)
次鋒	藤原郁哉	(名古屋刑務所)
中堅	宮地広樹	(佐織工業高)
副将	梅本拡人	(JR東海)
大将	津田創太郎	(愛知県警)
五将	清水基史	(愛知県警)
四将	渡口剛	(大同特殊鋼)
三将	中村隆信	(愛知県警)
六将	森本善仁	(大同特殊鋼)
七将	曾根武仁	(愛知少年院)
八将	北原健	(名古屋刑務所)
九将	高山敏宏	清水基史

剣道女子

先鋒	志田恵美	(愛知県警)
次鋒	迫美樹	(愛知県警)
七将	立石好美	(航空自衛隊)
六将	中村誠	(新陰流)
五将	立石好美	(航空自衛隊)
四将	渡口剛	(大同特殊鋼)
三将	森本善仁	(大同特殊鋼)
六将	曾根武仁	(愛知少年院)
五将	清水基史	(愛知県警)
副将	北原健	(名古屋刑務所)
大将	中山睦友	(トヨタ自動車)
全勝賞	高山敏宏	清水基史
大将	石原たまみ	(三好高教)
副将	甲斐幹渉	(夢想神伝流)
大将	東朱美	(新陰流)
全勝賞	高橋秀徳	甲斐幹渉

第6回

中高年剣道大会

6団体対抗剣道試合 警察チームの連勝続く

平成29年7月30日（日）名古屋市中スポーツセンターにおいて、実施されました。
今回で4回目の開催となり、試合は、ダントツで警察チームが連勝を重ねる結果になりました。

大会結果	優勝 警察チーム
	準優勝 官公庁チーム
3位	実業団チーム
4位	学生チーム
5位	教職員チーム
6位	一般チーム

優秀選手賞 女子	迫 美樹 (警察)
学生	那須田圭祐 (中京大)
20代	谷 亮太 (警察)
30代	森本 善仁 (大同特殊鋼)
40代	外山 浩規 (警察)
50代	北原 健 (名古屋刑務所)

平成二十九年七月三十日（日）第四回六団体剣道大会が名古屋市中スポーツセンターにおいて開催されました。当日は小雨降る中、役員及び選手の皆様はご苦労様でした。試合は、練習豊富な警察・官公庁・実業団・教職員・一般・大学以上の六団体



大会委員長
大田 義弘



平成二十九年六月二十五日（日）名古屋市中スポーツセンターにおいて、第6回愛知県中高年剣道大会が開催されました。当日も剣道を愛好する、県内の60歳以上の男子剣士と50歳以上の女子剣士が集い、恒例の剣道大会が開催されました。拝見試合数は、女子9組、男子60～64歳5組、65～69歳6組、70～74歳10組、75歳以上6組。計36試合。元気一杯の心技を競いつつ懇親を深めました。



優秀試合者賞の皆さん

男子の部
64歳以下の部
野田孝志 (名古屋) — 原田 努 (尾南)
65～69歳の部
白井孝一 (東三河) — 小山宗章 (尾張)
70～75歳の部
長良武司 (名古屋) — 大崎 保 (尾南)
75歳以上の部
菅原 實 (名古屋) — 米田種司 (西三河)

女子の部 優秀試合者賞
小林尚美 (東三河) — 原 京子 (名古屋)

審判長 尾野 博之		
第1会場 審判主任	第2会場 審判主任	第3会場 審判主任
平井 道典	山崎 尚	大河内鉄彦
審判員	審判員	審判員
警察 穂園 元孝	日置 介二	北村 真一
実業団 菊池 雅樹	和田 辰己	松野 淳二
教職員 松田 武司	高山 潤一	宮崎 正充
官公庁 溝口 夏樹	野田 卓志	近藤 佳幸
一般 勝野伸太郎	野田 孝志	永岡 伸一
学生 杉浦 雅人	江原 清彦	森 健志

で、各チームとも五試合連続で行うという厳しい条件でありました。
試合内容は、各団体から推薦された選手の試合で見えたある攻防、充実した気勢的確な打突等が随所に見られ、格調高い盛り上がった大会となりました。この日私も実業団の監督として参加させていただきました。実業団選手は中々同年代の警察官選手と対戦することも少なく、勝負は負けましたが大変勉強になったものと思っています。勝負に徹することは大事ですが、本大会の意味を充分に考え、正々堂々と試合を行つていただきたいと思います。



日本剣道形を演じる、打太刀 高山潤一先生（左）
仕太刀は松田武司先生 両先生とも剣道教士七段



この日出席の八段の先生方は、勝股寿彦先生、近藤勁助先生、大嶽將文先生、松下明房先生、杉浦雅人先生、都地学先生でした



稽古後のコメントに深く感銘を受けました（大嶽先生）



攻め崩しの対応法を示範されました（近藤先生）



剣先を喉につけられ、前に進めませんでした（山本先生）

愛知県剣道連盟では、平成二十九年五月十七日、標記稽古会を開催しました。第一回稽古会は、一昨年五月十八日開催。以降、毎年春と秋の二回実施しております。場所はいずれも名古屋市枇杷島スポーツセンターです。

写真は、昨年十一月十五日の模様です。この日は、富田会長、山本相談役、近藤相談役の先生方等60名ほどが集まり、心地よい汗を流しました。

女子の部 優秀試合者賞
小林尚美 (東三河) — 原 京子 (名古屋)

高齢者剣道稽古会

試合結果

	六	五	四	三	準優勝	
教職員一般	0	1	2	3	4	5
学生	4	16	14	17	31	36
実業団	8	30	30	37	49	61
官公庁						
警察						
勝数						
勝者数						
取得本数						



優秀選手賞の皆さん



熱戦を演じる、大河内先生（右）と稻富政博先生



教士八段
大河内鉄彦先生
愛知県警察本部
教養課術科指導室
剣道師範

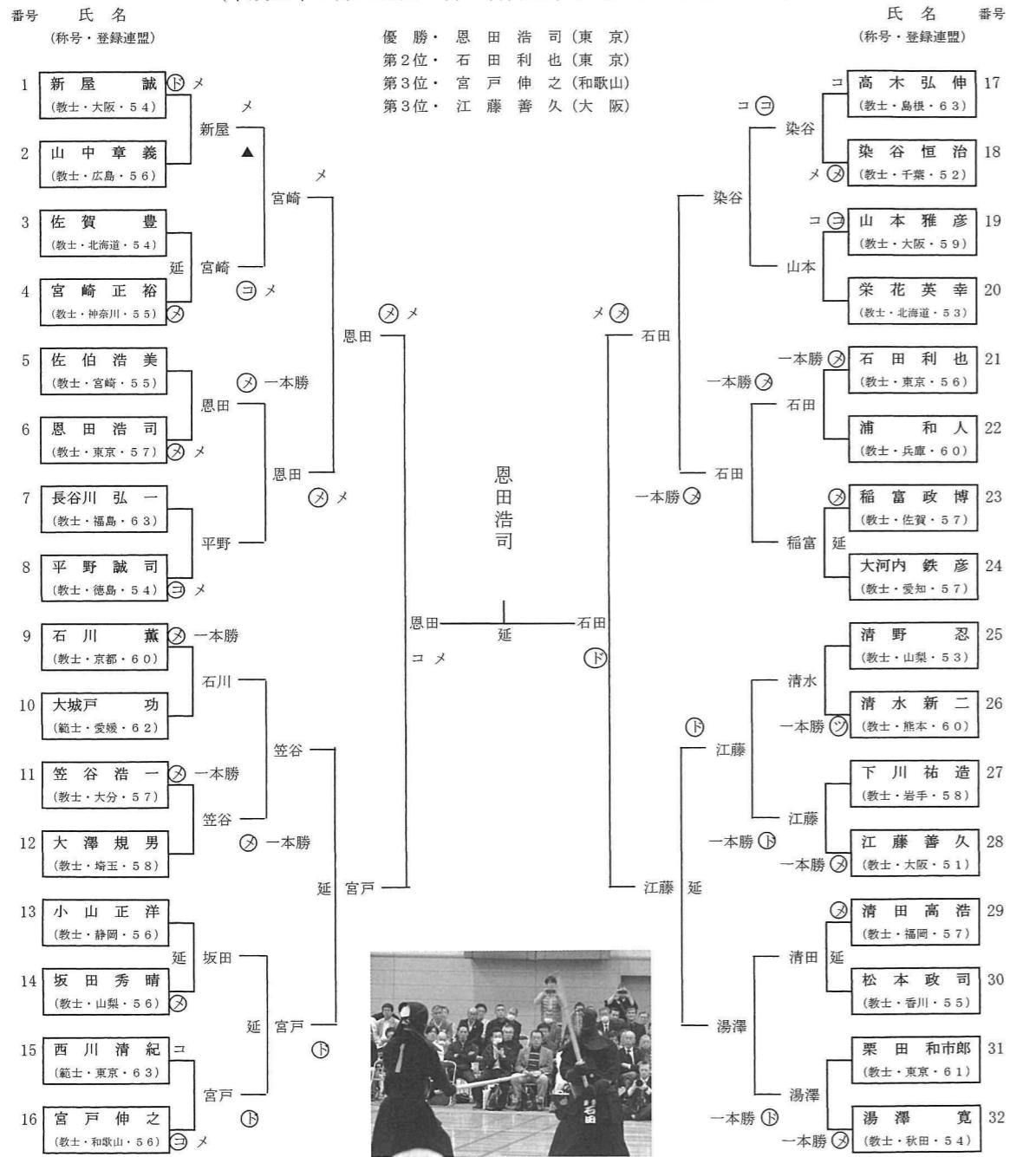
第16回全日本選抜剣道八段優勝大会 剣道八段優勝大会

平成30年4月15日(日) 名古屋市中村スポーツセンターにて、標記大会が開催され、愛知県からは大河内鉄彦先生が出場されました。

内閣総理大臣杯授与

第16回 全日本選抜剣道八段優勝大会 組合せ表

(平成30年4月15日(日) 於・名古屋市中村スポーツセンター)



決勝戦は、恩田選手対石田選手（右）



2017.04.30
真っ向勝負！随所に熱戦を繰り広げる



2017.07.31
3試合場のため、休む間もなく試合です



優勝した、警察チームの皆さん

居合道だより



居合道部 監督
長谷川 善久

第四十八回 東海四県対抗 居合道大会で三連覇を果たす

平成三十年三月四日（日）三重県津市サオリーナ武道場にて開催され、愛知県チームは三連覇となりました。

居合道は、昨年の六月の段別選手権大会入賞者を強化選手に指名し、毎月の合同稽古会と直前の強化稽古会にて、心と技を磨いてまいりました。

強化稽古では、今大会に限らず、もつともっと先を見据えて日々の稽古を積み重ねる覚悟を選手の皆さんにお願いしました。

今大会には、愛知県剣道連盟のバッジを全員胸につけて、選手各自が自覚と責任と誇りを持って大会に臨みました。

今回の優勝は、各自が覚悟した自覚と素晴らしいチームワークの勝利だと思います。

表彰式後、富田会長より、「静岡県の十二連覇に迫るよう益々の努力を」と、ま

た、大嶽理事長からは、「稽古は与えられるものではなく、求めるものである」との激励をいただきました。

末筆になりましたが、県連の居合道へのご理解とご支援に対し深く感謝申し上げます。



三連覇を示す、3本指サインの皆さん



三先生に、お祝いの記念品が贈られます

女子部だより

女子七段昇段祝賀会を開く

亘り剣道を続けていくには、いくつもの壁があり、それを支えてくれる家族や剣友の存在、取り巻く環境や一番大事な自分自身の地道な努力なしでは到底続けていくことはできません。

私は七段というのは、偉そうな言い方ではあります、もちろん技術面、精神面でも高い所にあると思いますが、いくつもの壁や環境など乗り越えながら剣道を続けてこられた、という事にも価値があるように思えます。

富田会長のご挨拶の中で、「家事をしながら剣道もやり、女性は本当にすごい」とお話し下さったのを覚えていました。改めてそう感じながら終始脈やかに皆さんと食事しながら語り合えることもでき、盛大に祝賀会を開催できたことに感謝致します。

平成三十年二月三日、名古屋栄東急REIホテルにて2年ぶりとなる七段昇段祝賀会を開催することができました。

昨年の春にご昇段された西三河剣道連盟の村井光子先生と尾張剣道連盟の地福真紀子先生、同じく昨年の夏にご昇段された西三河剣道連盟の與儀美江子先生のお祝いです。

愛知県剣道連盟の富田会長、大嶽理事長をはじめ各地区の先生方にもお忙しい中ご出席賜り各地区的女子会員60名以上を超す総勢81名にて盛大に開かれました。内田副会長の乾杯から始まり、ご昇段された3名の先生方の積み重ねてこられた経験や今の想いなどを挨拶して頂きました。しかしこれから挑戦していく若手の方たちにとつてはとても大きな励ましであったと思います。女性が生涯に



東三河女子部
部長 富田 仁美

“七段合格”喜びの声



村井 光子
(西三河)

教えて頂いた全ての皆さんに感謝

平成二十九年五月十三日（土）枇杷島スポーツセンターでの七段審査会で昇段させて頂きました。

娘が小学四年生の時、岡崎スポーツセンターで剣道を始めました。五年生の冬休みに指導の先生から、「お母さんもやりませんか、体を動かしていれば寒くないですよ」と声を掛けて頂き、「寒さしげ」の軽い気持ちで、子供たちと一緒に素振りを教えてもらつたのが剣道を始めたきっかけです。そして数年後、四十歳を目前に岡崎市剣道連盟に入会させて頂きました。

その後、三十数年、不器用な私を見捨てることなくご指導くださった先生方、多くの剣友の皆様方、良きライバルとして、また良き相談相手として、共に競い合い、切磋琢磨してきた女性剣道の仲間の皆さん、さらにいつも私を奮起させてくれた少年剣道教室の子供たちなど、全

最大の喜びは、自分に克てたこと



與儀 美江子
(西三河)

ての方々に、心より「ありがとうございます」と申し上げたいと思います。

これからは、皆様方に感謝の気持ちと、頂いた御恩をお返しできるよう、そして生涯剣道を目標にしつかり気持ちを引き締め、努力を重ねていくつもりです。

最後に、七十歳を過ぎても、いまだに楽しく剣道が続けていられる毎日を有り難く思います。健康な身体をくれた両親や、どんな時にも全面協力してくれる家族など、周りのみんなのおかげです。皆様方、本当にありがとうございます。これからも叱咤激励頂きたくよろしくお願い致します。

最大の喜びは、自分に克てたこと

平成二十九年八月二十六日（土）大学生の時に試合した福岡市民体育館で審査を受けました。

立合は、一人目が女性、二人目が男性。呼び出しの時、春の審査での女性との立合いの失敗を思い出し、マイナス思考になりました。しかし、自分の良さは何だと自問自答。「気合だ。」この一つにしぼり、プラス思考へ切替え、着座を

杖道だより



杖道委員長
前田 新吾

杖道とは？

杖道は、剣道、居合道と共に剣道連盟の三本柱の一翼を担っています。その指導精神は、幕末の志士平野次郎國臣が「傷つけず人をこらして戒むる教えは杖の外にやはある。」と詠んだとおり、形の多くは後の先で始まっております。杖道は精神の修養と身体の鍛錬を第一義とし、その目的は精神修養にあります。

愛知県内の杖道人口は、最近の審査受験者数から推計しますと、実際に活動している者は100名程度と思われます。少子高齢化の影響を受けて杖道人口も減少傾向にあります、伝統ある杖道を若い人たちに受け継いで欲しいと思っております。全剣連制定形の杖道の技は、主に神道夢想流杖術を元とし、香取神道流の奥義を極めた夢想權之助勝吉によつて編み出されたと言われています。

杖道の稽古は、長さ128センチ、直径2.4ミリの杖と、全長101.5センチ、柄の長



杖道は素面、素小手で行うため、一瞬の油断も許されません

さ24・2センチの木刀を持って行い、その材質は、共に白櫻とされています。
愛知県剣道連盟では、毎月最終土曜日の午後露橋スポーツセンターにおいて合同稽古会を開催しております。多くの方々の参加を歓迎します。連絡先は杖道委員長前田新吾（TEL：0567-96-1558）まで、ご連絡ください。

しました。

審査員の休憩中に面をつけ、体を少し動かし準備OK。順番が来ました。相手と礼。相手が先に気合を出す。それをみて私も出す。攻め合い、機を見て出小手やや鍔になるが残心。次、攻めて、攻めて、出頭面。次、面返し胴。振り向きざまに面を打たれたが残心を取る。次、相手の面をさばく。出小手、面抜き面。終了。二組の立会い三分待ち、二人目。初

太刀相面、その後、抜き胴とすりあげ面が出せたことは記憶にあります。

今回の最大の喜びは、自分に克てたことです。合格ができたのは、子ども達との指導稽古、先生方と剣友の稽古があつたからと感謝しかありません。

また、こうして剣道ができ、この喜びが味わえたのも家族の支えがあつたからです。

これからが厳しい修行になるでしょうこの道に進んだ以上、精進していきます皆様、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ

A black and white portrait of Michiko Terao, a woman with dark hair pulled back, wearing a dark blazer over a light-colored collared shirt. The photo is set against a plain, light background.



地福 真紀子
(屋張)

実技審査が終わった直後は、「次は頑張らなくては。」という気持ちでした。特に目立ったところのない平凡な内容だと感じたからです。ですので、合格発表で自分の番号を見つけた時は、本当に驚きました。

しかし、その後、実技審査の動画を見て、自分の立合に、これまで先生方から教えていただいたことが、随所に出ていたことに気づきました。蹲踞から立ち上がりつて先に半歩前に出たのは、高校時代に教えてもらったこと、全体を通じて後ろにさがらなかつたのは、教員同士の稽古会の後、「不退を貫け。」と言われたこと。以前は、足幅が広い、右腕が伸びている、と叱られた構えも直つております。

中学の部活動で始めて以来、学生、会社員、教員と立場を変えながらも、幸いにも剣道を続けられ、多くの方と稽古する機会に恵まれました。そしてたくさんのこと教えていただきました。今回の合格は、教わったことを稽古によつて一つ一つ積み上げていつた結果だと思います。今まで出会つた方々のおかげと、心より感謝しております。

実は、身に付けたい技はまだまだあります。これからも、皆様から学び、自分の剣道を高めていきたいと思つております。

私達（女性講師三名、石原たまみ、興儀美江子、小田佳子）は昨年八月三十日から九月五日にかけて、東海学生剣道連盟とイギリス剣道連盟の支援事業として、大学生と高校生十二名を引率し、カーディフ女子剣道講習会に参加してきました。

イギリスで教えたこと

私は同年四月からドイツでの在外研修中でしたので、五月にハンガリーで開催されたヨーロッパ選手権大会を観戦しながら、イギリス女子講習会での課題設定を考えていきました。ヨーロッパの選手は男女ともにパワーはあるのですが、スピード（敏捷性）と器用さ（柔軟性）に欠けるように思われます。そこで、イギリス女子チームを観察しながら見出した技術的課題は、「足さばき」と「体さばき」で

に関する講義に挑戦しました。国際的普及を展開する剣道にとつて、世界大会



立って講義をする筆者「有効打突の概念と残心」について話す

歷史探訪

愛知県は、歴史上名を残した人物や、
それにまつわる名所、旧史跡には事かき

初回は、源義朝です。
ここ上野間（かみのま）の「大御堂寺」
通称「野間大坊」の境内に、義朝の廟所
(お墓)があります。

そのいわれを境内に立つ石碑文から、
書きうつしました。(原文どおり)

「源義朝」とは、鎌倉幕府を開いた「源頼朝」、平家を滅ぼした「源義経」の父。

加してくれました。改めて、文劍知愛を学びました。剣道は日本の伝統文化であると同時に、時空間を超える営みであります。改めて剣道の良さや続けることの意義を確信できた講習会でした。



観光は、カーディフ城へ



くつろぎタイム、意氣投合



講習生全員で、記念写真を撮りました



お墓の中央に向けて、多くの木太刀が供えてあります



「大御堂寺」通称「野間大坊」
この寺の東側に義朝廟所があります

いつしか、願いをかなえる武将「源義朝」として、人々が願いをしたためた木太刀をお墓にうずたかく供えるようになつて。

平清盛に敗れた源義朝公は本拠地である
関東地方へ落ち延びる途中、この地野間
を治める家臣の長田忠致・影致（おさだ
ただむね・かげむね）親子のもとへ身を
寄せた。ところが長田忠致・影致親子は
裏切りの企てをする。義朝公へ「どうぞ
朝湯へお入りください。」と勧め入浴中の
裸の義朝公を風呂場にて切り付け命を奪
つた。

武芸の達人であつた義朝公は「無念。
我に木の太刀の一本でもあればむざむざ
打たれはせん。」と言つて絶命した。

後の世人々が義朝公の菩提を弔うた
め、お花の代わりに木太刀をお供えする
習わしとなる。

「大御堂寺」通称「野間大坊」
この寺の東側に義朝廟所があります

いつしか、願いをかなえる武将「源義朝」として、人々が願いをしたためた木太刀をお墓にうずたかく供えるようになりました。

実業団だより

第六十六回全国青年大会

名古屋市南区

女子優勝・男子3位

オール大同剣道部 中山 志保

平成二十九年十一月十一日～十二日に第六十六回全国青年大会が東京武道館で開催されました。（主催は日本青年団協議会日本青年館 東京都）

本大会は、各都道府県の青年たちが日頃取り組んでいるスポーツや芸能文化活動の発表の場として、予選大会を勝ち抜いた青年男女が毎年東京に集まり、熱戦・熱演を競い合い、その中で友好親善を深めました。また、皇室とも深いご縁のある大会で、瑠子女王殿下をお迎えしての開会式は、とても光栄でした。

剣道の試合では、日頃から鍛錬を積んだ選手が数多く出場しており、白熱した試合展開となりました。このような、歴史ある大会で女子が優勝、男子が三位に入賞出来た事は、私達仲間にとつて、一生忘れられない最高の思い出となりました。全国の舞台に送り出してくれた全ての方々に感謝しています。



決勝戦に臨む、名古屋市南区女子チーム（向う側）

試合結果		
	名古屋市南区	
団体戦		
男子	男子ベスト8 豊川市	
女子	女子ベスト8 豊田市	
個人戦		
男子	優勝 田中 隼 3位 里山優貴 2位 吉田真悠	優勝
女子	優勝 漆谷綾華	優勝
男子団体		優勝



名古屋市南区 女子団体 優勝 男子団体 3位

中部地区実業団剣道連盟の活動 審判技術を高めるために



事務局長
神谷 光顕

中部地区実業団では、実業人剣道の活性化と相互の親睦を図ることを目的として、「審判講習及び鍛成会」を開催しております。平成二十九年度は、実業団加盟企業団体の剣士だけではなく、実業団に加盟をしていない実業人剣士にも広く参加を呼びかけ、勤め先に剣道部が無い方や部員数の減少により剣道部の活動を停止している企業の部員、転勤者等の方々を含め百四十八名の参加を得て開催しました。

審判講習会では、祝要司先生（本連盟理事長）、穂園元孝先生、北村真一先生を講師として、各社の六段以上を対象に行いました。受講者には座学にて、審判の重要性（目的と任務）と心得（心構えと留意事項）、審判要領についての講義のあと、鍛成会の審判とあわせて実技講習を行いました。鍛成会は団体戦（男子五人制、女子三人制）形式で行い、試合中各試合のあとに有効打突の判定や所作に

審判講習会では、祝要司先生（本連盟理事長）、穂園元孝先生、北村真一先生を講師として、各社の六段以上を対象に行いました。受講者には座学にて、審判の重要性（目的と任務）と心得（心構えと留意事項）、審判要領についての講義のあと、鍛成会の審判とあわせて実技講習を行いました。鍛成会は団体戦（男子五人制、女子三人制）形式で行い、試合中各試合のあとに有効打突の判定や所作に



皆さん有効打突の条件を、いつでも説明できますか？
試合審判規則・細則を、しっかり確認しあう

について適宜指導をする形で実技講習を行いました。
各試合場で講師から指導を受ける審判員の真摯な姿は、その傍らにいる試合者にも伝わったものと思います。
また、試合の中には「試合・審判規則」を理解せずに試合に臨む者も多く、審判の実技指導に耳を傾け、審判法を学ぶ良い機会となつたとの声が聞かれ、大きな成果を果たしたものと思われます。

本連盟主催の大会では、四十名程に審判員を委嘱しますが、その半数以上を実業団以外の先生方にお願いしております。これは、審判技術を持つた実業人剣士の少なさの現れであり、改善しなければいけない重要な課題と捉えています。

「試合・審判規則」を学ぶことは、剣道の質を高める上で重要なことと考えます。

審判講習を受ける機会の少ない実業人剣士の審判技術の向上と意識の高揚を図



審判技能を高めるために、実戦で位置取り等を確認しあう



るため、今後も取り組んで行きたいと考えております（平成三十年度は、五月二十日（日）に開催）。何卒ご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

道場連盟だより

第52回全国道場少年剣道大会

洗心道場が初優勝



洗心道場 師範長
内田 信之

平成二十九年七月二十五日（火）日本武道館において、我が洗心道場が小学生の部で初優勝（愛知県初）に輝きました。

平成二十九年七月二十五日（火）日本武道館での「全国優勝」です。洗心道場師範長になり、14年春の選抜大会は優勝2回、準優勝1回。過去、日本武道館では、中学生の部で準優勝1回、3位2回。個人戦では、小学生の部で廣田君（現在東京三菱UFJ銀行）が優勝と門下生は頑張ってくれました。が、日本武道館で最大の大会である小學生団体戦では、ベスト8が最高でした。

優勝への道のりは険しく
夢にまで見た日本武道館での「全国優勝」です。洗心道場師範長になり、14年春の選抜大会は優勝2回、準優勝1回。過去、日本武道館では、中学生の部で準優勝1回、3位2回。個人戦では、小学生の部で廣田君（現在東京三菱UFJ銀行）が優勝と門下生は頑張ってくれました。が、日本武道館で最大の大会である小學生団体戦では、ベスト8が最高でした。

選手は素直で真面目な子

今回の大会は、小学生選手は5年生が3名、6年生が2名というメンバー構成で優勝には程遠くそんな大それたことは

思つてもみませんでした。愛知県予選でも準優勝選手達はみな小柄でケガ人も2名。半年近く稽古ができませんでした。しかし選手は本当に素直で眞面目な子ばかり。稽古をさぼることはなく、毎日のランニングや素振りは欠かさなかつたと思います。5人とも勉強も成績優秀です。何より5人の特徴は、教えた事を理解し、実施する能力が今まで指導した子供達の倍の能力がありました。しかし、食が細く、食育には今も苦労しています。

伝統の力を發揮してくれた

さて、そんな彼らの実績は、今までの先輩達の功績が大であります。14年前、私が師範長になった時は、小学生、中学生合わせて20数名。現在80名。当時他府県に遠征に行けば、どこの道場？と言われ、外で着替えて、というあしらわれ方でした。その悔しさが今でも忘れられなくて、今にみていろ、と思った事が、私の闘志に火をつけてくれて、よし、出身の洗心道場を日本一にしようと決意させてくれました。

徹底した稽古に取り組む

洗心道場の剣風は、「攻めて勝つ」ことです。道場の正面に掲げ、門下生は常に心に刻み稽古に励んでいます。今の選手達は、毎週のようだ大会や練成会があり、週末は試合漬けです。ですから、平日、稽古は切り返し、打ち込み、掛り稽古、



表彰状を授与される



いよいよ決勝戦が始まります



東別院境内での稽古状況



洗心道場での稽古状況



多くの賞品をいただきました

追い込み稽古を中心としたメニューで、足腰、打突の強度、忍耐力を養っています。

勝利を意識した大会に向けては、朝稽古や、特別稽古を積みますが、決して選手のみの特別稽古はしません。防具をついている門下生はだれでも参加できます。それは皆さんに強くなつて欲しいからです。

このような日々が続いていよいよ大会前日になりました。前日の練成会ではなかなか勝ことは難しく、翌日に不安を感じている門下生はだれでも参加できます。最低でも引き分けを心掛けること。あと普段どおり行こうと。そして当日を迎えました。

一回戦から三回戦までは順調に勝ち上がり、四回戦は、熊本の順道館。先鋒が2本勝ちをしてくれたので勝利。続いて福岡県如水館池田道場。これも先鋒の勝利によりペースをつかむことができました。続いて鹿児島のチームも先鋒の活躍で勝利。続く大阪の関目にも勝利し、いいよい準決勝です。対戦は福岡の如水館。毎年ベスト4には必ず入り、何度も優勝経験がある超強豪です。先鋒が先に1本取られましたが取返して引き分け。次鋒から副将までお互いに譲らずに引き分け。

このような日々が続いていよいよ大会前日になりました。前日の練成会ではなかなか勝ことは難しく、翌日に不安を感じている門下生はだれでも参加できます。最低でも引き分けを心掛けること。あと普段どおり行こうと。そして当日を迎えました。

追い込み稽古を中心としたメニューで、足腰、打突の強度、忍耐力を養っています。

勝利を意識した大会に向けては、朝稽古や、特別稽古を積みますが、決して選手のみの特別稽古はしません。防具をついている門下生はだれでも参加できます。それは皆さんに強くなつて欲しいからです。

こののような日々が続いていよいよ大会前日になりました。前日の練成会ではなかなか勝ことは難しく、翌日に不安を感じている門下生はだれでも参加できます。最低でも引き分けを心掛けること。あと普段どおり行こうと。そして当日を迎えました。

一回戦から三回戦までは順調に勝ち上がり、四回戦は、熊本の順道館。先鋒が2本勝ちをしてくれたので勝利。続いて福岡県如水館池田道場。これも先鋒の勝利によりペースをつかむことができました。続いて鹿児島のチームも先鋒の活躍で勝利。続く大阪の関目にも勝利し、いいよい準決勝です。対戦は福岡の如水館。毎年ベスト4には必ず入り、何度も優勝経験がある超強豪です。先鋒が先に1本取られましたが取返して引き分け。次鋒から副将までお互いに譲らずに引き分け。

このような日々が続いていよいよ大会前日になりました。前日の練成会ではなかなか勝ことは難しく、翌日に不安を感じている門下生はだれでも参加できます。最低でも引き分けを心掛けること。あと普段どおり行こうと。そして当日を迎えました。

追い込み稽古を中心としたメニューで、足腰、打突の強度、忍耐力を養っています。

勝利を意識した大会に向けては、朝稽古や、特別稽古を積みますが、決して選手のみの特別稽古はしません。防具をついている門下生はだれでも参加できます。最低でも引き分けを心掛けること。あと普段どおり行こうと。そして当日を迎えました。

追い込み稽古を中心としたメニューで、足腰、打突の強度、忍耐力を養っています。

勝利を意識した大会に向けては、朝稽古や、特別稽古を積みますが、決して選手のみの特別稽古はしません。防具をついている門下生はだれでも参加できます。最低でも引き分けを心掛けること。あと普

中体連だより

◇第七十一回愛知県中学校総合体育大会の結果について

平成二十九年七月二十九日(土)、西尾市総合体育館にて、団体男女各二十四チーム、個人男女各四十八名ずつ参加し熱戦が繰り広げられた。結果はつきの通りです。



男子優勝 西尾市立福地中学校

団体戦(男子の部)

(準々決勝) 福地

4-1 千種台

伊勢山

3-1 青海

鶴城

1-4 津賀田

津賀田

3-2 西尾東部

福地

3-2 伊勢山

津賀田

2(本)-2 春日井中部

福地

3-1-2 津賀田

(準決勝) 平坂

4-1 古知野

豊川西部

1-3 鶴城

山田東

0-1-3 幸田北部

幸田北部

0-1-3 西尾

(決勝) 平坂

3-1 西尾

(準決勝) 幸田北

3-1 岩倉

(決勝) 幸田北

3-1 鶴城

(準決勝) 幸田北

3-1 西尾

(決勝) 幸田北

3-1 鶴城

(準決勝) 幸田北

3-1 西尾

(決勝) 幸田北

3-1 鶴城

(準決勝) 幸田北

3-1 西尾

(決勝) 幸田北

3-1 鶴城

(準々決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

(決勝) 幸田北

3-1 古知野

(準決勝) 幸田北

3-1 古知野

高体連だより



高体連剣道専門部
委員長
野末 敏郎
(県立半田高校教諭)

第六十四回全国高等学校剣道大会報告

全国四十七都道府県の代表四十八校（開催県二校）、男女各九十六名（開催県四名）で争われる高校生最大の祭典である第六十四回全国高等学校剣道大会（インターハイ）が平成二十九年八月九日～十二日杜の都仙台（カメイアリーナ）で開催されました。

本県からは、団体戦は男女とも昨年と同じく桜丘、岡崎城西が出場しました。桜丘は、予選リーグで北の強豪東海大札幌、選抜大会準優勝の水戸葵陵と顔を合わせました。結果は残念ながら予選リーグ敗退。岡崎城西は、選抜大会三位の須磨学園を県予選で破った関西学院、古豪左沢と対戦、左沢に勝利したものの関西学院に僅差で敗れ一勝一敗、惜しくも予選リーグで敗退でした。

男子個人の代表は、小柴直樹選手（桜

丘三年）、新井義生選手（名古屋大谷三年）、女子代表として長田茉琴選手（岡崎城西二年）、室屋悠望香選手（同三年二年連続出場）以上の四選手が出場しました。小柴・新井両選手ともに残念ながら緒戦で敗退、室屋選手は二回戦敗退、唯一二年生で出場した長田選手は、惜しくもペスト16で敗退。団体戦・個人戦とも実力を十分には發揮できなかつた選手もいるかもしれません、今回の経験が彼らの成長に繋がるのではないかと思います。今後の彼らの活躍を大いに期待します。



岡崎城西高校の皆さん



桜丘高校の皆さん

最後に高体連の活動に対し、多大なるご支援を頂いております愛知県剣道連盟に深く感謝し、報告を終わります。

地区だより

尾張剣道連盟

事務局長 吉原 辰美

日本剣道形講習について、平成二十七年度以降、尾張剣道連盟では、年に三回ないし四回の審判講習・形講習を行っています。本連盟主催の大会・試合の審判員、また年三回行われる愛知県主催の初段から三段審査時の形講師はこの講習参加者の中から選任されます。執行部より、資格のある方は参加し、審判技術・形の技術を大いに磨くよう要請しています。参加者は回を追うごとに、増加しています。



座学で審判と形の知識を高めます



実技で判定能力を高めます

【名古屋市剣道連盟】

事務局長 久保 多加史



熱心にメモをとる、講習生の皆さん



講義にも、熱が入ります

【西三河剣道連盟】

事務局長 手嶋 道雄



木刀による基本技稽古法を示範する、安保先生と平井先生（右）

【名古屋市剣道連盟】

名古屋市剣道連盟では年二回の剣道指

講習生のみなさんも今回の講習内容に満足されたと思います。今回学んだ事を持ち帰って頂き、教室や道場で役立てて頂きたいと思います。

最後に講習生と講師による稽古を実施し終了しました。

講習生のみなさんも今回の講習内容に満足されたと思います。今回学んだ事を持ち帰って頂き、教室や道場で役立てて頂きたいと思います。

名古屋市剣道連盟では年二回の剣道指

事務局長 久保 多加史
本連盟では内部組織として六部門の専門委員会組織を擁し、その中の強化委員会は倉成健治先生を委員長として十名の

【演武及び試合】

初めに日本剣道形を打太刀平野克幸先生、仕太刀興梠美津明先生の両七段により、また、居合道は鍊士七段竹内修先生、鍊士六段佐藤邦男先生により静謐の中、見事な演武が披露されました。その後、東西対抗試合が豊明市を含む5市6町が東西に分かれて小学生、中学生、高校生、女性、三・四・五・六・七段合計20名により行われました。さすがに、選抜された選手ただけあつて接戦に次ぐ接戦となりました。



居合演武を竹内修七段と
佐藤邦雄六段（左）が行う
日本剣道形は、平野克幸七段と
興梠美津明七段（右）による



熱戦を繰り広げる、坂口選手（左）と渡邊選手



選手宣誓を行う、西軍 関屋優作選手

平成二十九年度 役員

参
与
相
談
副
会
長
長
役
會
長
副
會
長

青瀧 東松 水細 伊丸 細水 木牧 林近 後北 菅和 松鈴 勝山 白渡 安小 内富
山 下谷 川藤 山田 谷本野 藤藤村 沼田 木股 本井 並部 栗田 田
幸順 明好 一清 鍾徳 三 邦勁 英 幸伊 健寿 重孝 秀七 武孝
光一夫 房助 昌彦 司郎 正夫 登夫 助壽 豊夫 功武 一彦夫 一直 利生 夫夫

理
事
常
任
理
事
長
理
事

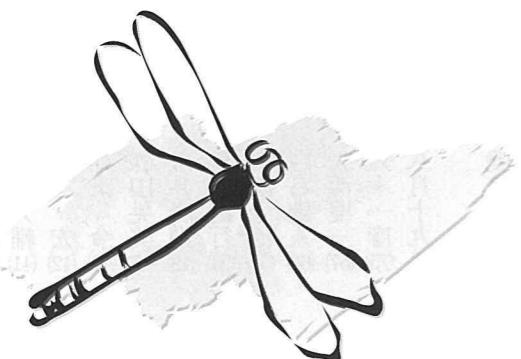
東中東祝畠大平尾松大三松田田日塩都安木杉熊高渡光山市牧山
川 山田原野本嶽澤岡中中野谷地保下浦澤山邊永口川野本
良治一要隆義 博利將芳良源輝隆 雅洋潤 昌武武允
美彦良司吉弘稔之幸文郎高五志夫厚学正仁人二一香勉宏利賢園

評
議
員
監
事

水山北久長上吉寒倉小古二熊新東田前水野山穂疋今稻長手山中原丹平山
田田村保良北原竹田山賀橋本美 村田野末口園田泉吉澤嶋口村田羽井崎
政多武輶辰富宗萬千邦由彰新敏照元哲 賢道和憲 正道
涉晴豊史司也美雄明章美隆尋廣子浩吾隆郎義孝之弘悟治雄義治努則典尚

事
務
局

伊伊牧竹 小田加松山富杉藤堀榎渡
藤藤野内林中藤下本田浦坂山本並
国みどり 康尚浩忠明允孝正彰健鐘
博翠惠美二則房園夫人一治司直



祝辞を述べられる、富田県連会長

最後になりましたが、この度の創立四十周年を迎えるにあたり多大なご支援を賜りました各関係団体並びに諸先生方に心からお礼申し上げますと共に、今后とも本連盟が益々発展しますよう、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



和やかに、笑顔に、熱い会話が溢っていました

【祝賀会】

記念祝賀会は、体育館に隣接する公園クラブにて総勢110名が参加し祝賀パーティが挙行されました。主催者挨拶後、ご多忙のところご出席賜りましたご来賓を代表して愛知県剣道連盟会長富田孝夫先生にご祝辞をいただきました。来賓として、理事長の大嶽将文先生始め、竹内事務局長、堀山西三河理事長、手嶋事務局長、白井東三河理事長、稻吉事務局長、メディアライフ阿部麻子先生にご出席いただきました。宴では剣道談議に花を咲かせ時間の経つのも忘れるくらい盛りあがりました。出席者の皆様には本当にありがとうございました。出席者の皆様には本当にありがとうございました。



剣道・居合道・杖道

平成26年7月1日 (改定)

※審査日前日までに満七十歳になった方は、登録料半額。
※一級受験に際し、加盟金(終身)五、〇〇〇円を納入して、愛知県剣道連盟に加盟しなければならない。

段・級	審査料	登録料
8 ~ 2 級	1, 000円	2, 000円
1 級	1, 100円	2, 600円
初段	2, 000円	5, 300円
式段	2, 200円	6, 300円
参段	3, 100円	9, 200円
四段	3, 900円	11, 300円
五段	4, 900円	17, 500円
六段	11, 300円	38, 300円
七段	14, 400円	61, 800円
八段	17, 500円	90, 000円
称号		
鍊士	17, 900円	50, 400円
教士	25, 700円	72, 000円
範士		105, 000円

愛知県剣道連盟ホームページ案内



http://www.aichi-kendo.jp/

現在、各大会及び審査会の要項は、約二ヶ月前には当連盟ホームページに掲載しております。また大会申込書以外にも、審査会申込書、加盟(入会)手続書がダウンロード出来るようになりましたので、必要な方は各種要項のページにあります剣道、居合道、杖道のタブよりご確認下さい。

大会結果、審査結果等は出来るだけ早い段階で掲載するよう努めておりますが、多少のお時間を要する場合もございますので何卒ご了承下さい。

なお、全日本剣道連盟主催の大会結果や、審査会(六、七、八段、称号審査会)の合格者につきましては、全剣連ホームページに掲載後、当連盟ホームページに掲載いたします。全剣連のホームページは当連盟のリンクページ、関連団体タブよりご確認いただけます。

また岐阜剣連、三重剣連、静岡剣連ホームページへのリンクもしております。当連盟ホームページへのアクセスは『愛知県剣道連盟』で検索してください。ただし、上記アドレスを直接入力して下さい。

五地区剣道連盟所在地

尾張剣道連盟	理事長 松本利幸	事務局長代行 中川治彦
〒491-0903 一宮市八幡4-1-28	一宮市武道館内	TEL 0586-43-1023 FAX同じ
名古屋市剣道連盟	理事長 尾野博之	事務局長 久保多加史
〒454-0022 名古屋市中川区露橋1-31-20	富士見ビル2-G	TEL 052-361-8073 FAX同じ
西三河剣道連盟	理事長 大田義弘	事務局長 手嶋道雄
〒471-0813 豊田市野見山町3-78-14	手嶋様方	TEL 0565-89-3274 FAX同じ
東三河剣道連盟	理事長 畠山隆吉	事務局長 稲吉悟
〒443-0104 蒲郡市形原町下市18-1		TEL 0533-57-6061 FAX同じ
尾南地区剣道連盟	理事長 平原稔	事務局長 山田政晴
〒479-0862 常滑市小倉町5-48	山田様方	TEL 0569-42-3895 FAX同じ

平成30年度事業計画

一般財団法人 愛知県剣道連盟

4月			
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場所	時間	時間
1日 ●第5回剣道東日本中央講習会(31・日) 勝浦市 ▲剣道四・五段受審者講習会	京都市	9:30	1.火 ●剣道八段審査会
2月 ▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00	2.水 ●第11回愛知県警察剣道大会(2・5日) 昭和
3火			3.木 ●剣道八段審査会
4水			4.木 ●居合道・杖道形講習・審査会(初~三段)
5木			5.木 ●第27回東海地区剣道合同稽古会
6金			6.木 ●第2回愛知県高校柔道部選手権大会(個人)
7土 ●教士称号筆記試験	東京・神戸・福岡 日本ガーデン第3	9:30	7.土 ●第72回愛知県高校柔道部選手権大会(個人)
8日 ▲東海地区剣道合同稽古会・審査会(初~三段)	豊橋SC+岐阜SC	15:00	8.日 ▲第72回愛知県高校柔道部選手権大会(個人)
9月			9.日 ▲第72回愛知県高校柔道部選手権大会(個人)
10火			10.火 ▲第16回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
11水			11.水 ▲第16回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
12木			12.木 ▲第16回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
13金			13.金 ▲第16回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
14土 ●剣道八段受審者講習会	日本ガーデン第3	9:30	14.土 ▲第16回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
15日 ▲名古屋剣道形講習・審査会(初~三段)	豊橋		15.日 ●第16回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
16月 ▲第16回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)	中村	9:30	16.月 ●第16回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
17火			17.火 ▲第16回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
18水			18.水 ▲第16回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
19木 △愛知県女子剣道稽古会	新日生体育館	10:00	19.木 ▲第16回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
20金			20.金 ▲第16回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
21土 ▲第73回国体・(成年)県予選会	日本ガーデン第2	9:30	21.土 ▲第73回国体・(成年)県予選会
22日			22.日 ▲第34回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
23月			23.月 ▲第34回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
24火			24.火 ▲第34回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
25水			25.水 ▲第34回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
26木			26.木 ▲第34回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
27金			27.金 ▲第34回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
28土 ●居合道・杖道合同稽古会(初~三段)	豊橋	13:00	28.土 ●第47回愛知県道場少年剣道大会(初~三段)
29日 ●第66回全日本都道府県剣道優勝大会	大阪市	9:00	29.日 ●第66回全日本都道府県剣道優勝大会
30月 ●剣道七段審査会	京都市	19:00	30.月 ●第57回全国高等学校剣道競争大会(個人)
各地区自主練習開催日	各地区	毎月第2日曜日(19:00)、第3土曜日(19:00)	●全剣連 ○全剣連開催・▲県連 道場開催・△県連開催
※第72回県高校柔道部選手権大会(個人)			※その他の会場の並もありますので、必ず開催要項を確認下さい。

5月			
全剣連・県剣連・地区剣連その他行事	場所	時間	時間
1.火 ●剣道八段審査会	京都市	9:30	1.火 ●第23回女剣道審判講習会(19・20日)
2.水 ●第11回愛知県警察剣道大会(2・5日)	京都市	19:00	2.水 ●第34回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
3.木 ●居合道八段審査会	京都市	19:00	3.木 ●第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
4.木			4.木 ●第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
5.木			5.木 ●第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
6.金			6.金 ●第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
7.土 ●教士称号筆記試験	日本ガーデン第3	9:30	7.土 ●第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
8日 ▲東海地区剣道合同稽古会・審査会(初~三段)	豊橋SC+岐阜SC	15:00	8.日 ●第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
9月			9.日 ●第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
10火			10.火 ▲第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
11水			11.水 ▲第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
12木			12.木 ▲第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
13金			13.金 ▲第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
14土 ●剣道八段受審者講習会	日本ガーデン第3	9:30	14.土 ▲第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
15日 ▲名古屋剣道形講習・審査会(初~三段)	豊橋		15.日 ●第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
16月 ▲第16回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)	中村	9:30	16.月 ●第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
17火			17.火 ▲第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
18水			18.水 ▲第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
19木 △愛知県女子剣道稽古会	新日生体育館	10:00	19.木 ▲第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
20金			20.金 ▲第65回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
21土 ▲第73回国体・(成年)県予選会	日本ガーデン第2	9:30	21.土 ▲第73回国体・(成年)県予選会
22日			22.日 ▲第34回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
23月			23.月 ▲第34回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
24火			24.火 ▲第34回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
25水			25.水 ▲第34回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
26木			26.木 ▲第34回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
27金			27.金 ▲第34回愛知県高校柔道部選手権大会(初~三段)
28土 ●居合道・杖道合同稽古会(初~三段)	豊橋	13:00	28.土 ●第47回愛知県道場少年剣道大会(初~三段)
29日 ●第66回全日本都道府県剣道優勝大会	大阪市	9:00	29.日 ●第66回全日本都道府県剣道優勝大会
30月 ●剣道四・五段審査会	京都市	19:00	30.月 ●第57回全国高等学校剣道競争大会(個人)
各地区自主練習開催日	各地区	毎月第2日曜日(19:00)、第3土曜日(19:00)	●全剣連 ○全剣連開催・▲県連 道場開催・△県連開催
※第72回県高校柔道部選手権大会(個人)			※その他の会場の並もありますので、必ず開催要項を確認下さい。

西三河・東三河・尾張・愛知県内高校柔道部選手権大会(14:00)豊橋市武道館 ※5、8、12、14、18日を除く

1

西三河・東三河・尾張・愛知県内高校柔道部選手権大会(14:00)豊橋市武道館 第4土曜日(14:00)豊橋市武道館 ※5、8、12、14、18日を除く

1

1

広報委員会 担当一同

前列左より 横本鐘司・平原 稔・大崎 保
後列左より 東由美子・中村憲治・今泉 弘・竹内康惠



○各種大会で、全国優勝や入賞、東海四県剣道の連覇、居合道は三連覇など愛知県に焦点をあてて、現地に足を運び、その難しさと難しいですからね。普段から研修会で学ぶとか実戦現場に立つとかして常に向上意識で臨むことが大切です。

○その審判技術の向上を図るために、名古屋、東三河、尾張、愛知県内などで講習会を開催しております。審判も見たり言ったりするの簡単ですが自分が試合に立つて公正大な審判をするとなると難しいですね。普段から研修会で学ぶとか実戦現場に立つとかして常に向上意識で臨むことが大切です。

○剣道・居合道・杖道のいわゆる三道の全剣連の講習会が開かれました。参加者はいざれも得るもの多しの声。現地、現場で学ぶことは百聞は一見にしかず」の諺のとおり改めて生身の教育・研鑽が大切なことを実感しました。

○剣道・居合道・杖道のいわゆる三道の全剣連の講習会が開かれました。参加者はいざれも得るもの多しの声。現地、現場で学ぶことは百聞は一見にしかず」の諺のとおり改めて生身の教育・研鑽が大切なことを実感しました。

中日新聞社

成績の持参またはファックス先は以下の通りです。

◇本社 (名古屋市中区3の丸1ノ6ノ1)

FAX 052(201)4331

電話 052(221)0793

問い合わせは

◇豊橋支局 (豊橋市八町通3ノ91)

FAX 0532(54)4655

◇岡崎支局 (岡崎市東明大寺町16ノ18)

FAX 0564(25)1554

◇豊田支局 (豊田市美山町3ノ34ノ34)

FAX 0565(25)1118

◇一宮支局 (一宮市大江1ノ13ノ13)

FAX 0586(72)5035

◇半田支局 (半田市出口町1ノ45ノ18)

FAX 0569(23)2372

◇春日井支局 (春日井市鳥居松町3ノ60)

FAX 0568(81)2797

取材に来てくれることもありますので、先ず一報を

読売新聞社

FAX 052(211)1085

編集後記

平成30年度事業計画

12月	全剣連・県連・地区剣道その他行事	場所	時間
1土	▲県剣道古納め（剣・居・杖）	霧島	
2日	○第33回全日本学生剣道大会 △30周年県スポーツ少年団剣道交流大会 ※第61回東海学生剣道新人優勝大会 ※第2回東海女子学生剣道新人優勝大会 〃	龍谷大学 新日本体育館 浜松市立総合体育館	19:00
3月	▲剣道合同稽古会	枇杷島	
4火			
5水			
6木			
7金			
8土			
9日			
10月			
11火			
12水	▲監査		
13木			
14金			
15土	※第26回東海学連剣友剣道大会 昭和		
16日			
17月	▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00
18火			
19水			
20木			
21金			
22土			
23日			
24月			
25火			
26水			
27木			
28金			
29土			
30日			
31月			

1

東三河原則第4土曜日(14:00)豊橋市武道館※5、8、12、1月を除

東三河原則第4土曜日(14:00)豊橋市武道館※5、8、12、1月を除

全劍連・県劍連・地

1 水			
2 木			
3 金	○第60回全国教職員剣道大会	大阪府岸和田市	
4 土	▲東海地区剣道合同稽古会 △尾南柔道形講習・審査会(初～三段)	日本ガイシ第3 東海市民体育馆	15:00
5 日	△尾南剣道実技審査会「初～三段」 △東三河剣道実技審査会(初～三段)	東海市民体育馆 刈谷市民体育馆	9:00
6 月	▲剣道合同稽古会 ※第40回東海学校総合体育大会(剣道)(6・7日)	枇杷島 關市総合体育馆	19:00
7 木			
8 水		三重県伊勢市	
9 木	○第65回全国高等学校剣道大会(9～12日)		
10 金	※第31回愛知県警察少年剣道大会	愛知県体育馆	
11 土	▲第5回団体対抗剣道大会	常磐	10:00
12 日	▲剣道称号選考会	中	9:30
13 月			
14 火			
15 水			
16 木			
17 金			
18 土	●剣道七段審査会 ※全三河高等学校剣道大会	青森県 スカイホール豊田	9:00
19 日	●剣道六段審査会 ○国体東海ブロック大会	青森県 岐阜市	
20 月			
21 火	○第49回全国中学校剣道大会(22～24日) 関山市		
22 水			
23 木			
24 金	●枚道六・七段審査会	大飯町	
25 土	●枚道地区講習会(25～26日) ●剣道七段審査会 △合宿・杖道合同稽古会 ▲剣道・杖道合同稽古会(個人) ※知多地区高校剣道大会(個人)	大飯町 福岡県 露橋 知多市民体育馆	13:00 10:00
26 日	●剣道六段審査会	福岡県	
	△第70回愛知県青年大会 ※知多地区高校剣道大会(団体)	愛知県武道館 知多市民体育馆	10:00
27 月			
28 火			
29 水			
30 木			
31 金			

東三河原則第4土曜日(14:00)豊橋市武道館※5、8、12、1月を除

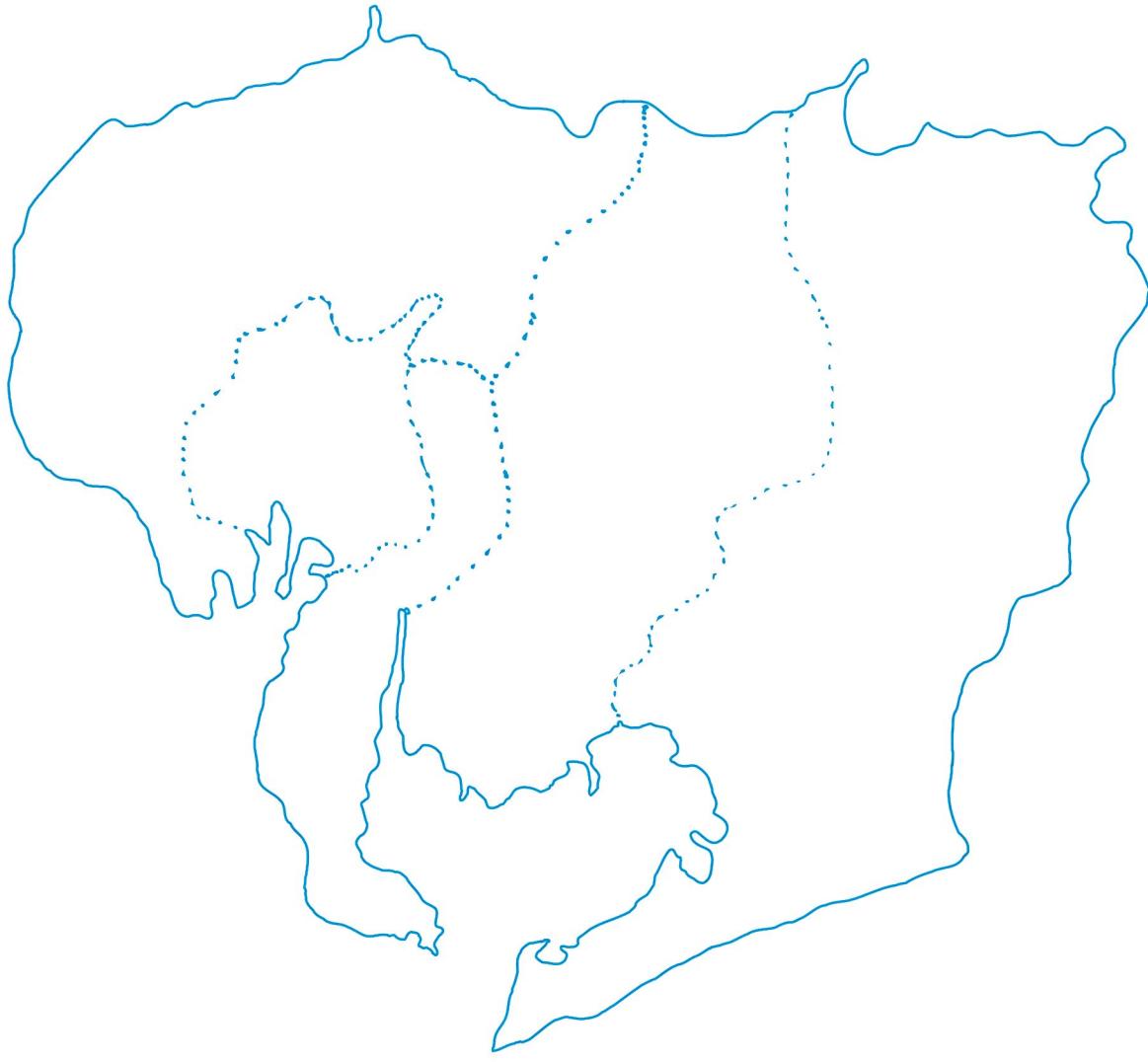
1月	▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00
2火			
3水			
4木			
5金			
6土	△東洋地区剣道合同稽古会 △張弓剣道講習・審査会(初～三段)	愛知県武道館 福井県総合体育馆	15:00
7日	※第35回中部実業団剣道選別選手権大会 10:00～11:45		
8月	▲剣道四・五段受審者講習会 △名古屋市剣道実技審査会(初～三段)	枇杷島 露橋	9:30
9火			
10水			
11木			
12金			
13土	▲剣道六・七段受審者講習会 △剣道八段受審者講習会	中 露橋	9:30 9:30
14日	●第45回全日本杖道大会	福岡県	
15月	▲剣道合同稽古会	枇杷島	19:00
16火			
17水			
18木			
19金			
20土	○第53回全日本居合道大会 △尾張剣道実技審査会(初～三段)	茨城県 福井県総合体育馆	
21日	▲杖道指導者講習会(全剣連) ※第30回東海学生居合道選手権大会	刈谷市体育館 名古屋大学	
22月			
23火	※全国警察剣道大会	日本武道館	
24水			
25木			
26金			
27土	▲愛知県剣道指導研修会(日本武道館後援 △居合道・杖道合同稽古会	愛知県武道館 露橋	27・28日 13:00
28日	○第66回全日本学生剣道優勝大会 ※高松新人体育大会支部予選会(回体)	大阪府中央体育馆 滋賀県	10:00
29月			
30火	▲女子部剣道講習会(剣道形)	日本ガイシ第2	10:00
31水			

東三河原則第4土曜日(14:00)豊橋市武道館※5、8、12、1月を除

11月 場所 連・県剣連・地区剣連その他行事

1木	日本武道館	日本武道館
3土	○第66回全日本剣道選手権大会(3~6日) △第31回全国麻雀部祭競技大会(初~三段) △東三河剣道形講習・審査会(初~三段)	富士山町砺波市 下五井体育館 9:00
2金	△県高校新人体育大会支部予選会(団体) ※県高校新人体育大会支部予選会(団体)	9:00
4日	△県高校新人体育大会支部予選会(個人・団体) ※県高校新人体育大会支部予選会(個人)	△選抜快挙館 県柔道競技館 名古屋市熱田区
5月	▲剣道合同稽古会 枇杷島	19:00
6火	△愛知県女子剣道稽古会 日本乃江汐第3	10:00
7水		
8木		
9金	●教士称号筆記試験 東京都 縣立墨田区	9:00
10土	○第7回全国青年剣道大会(10~11日) △西三河剣道形講習・審査会(初~三段) ※県高校新人体育大会支部予選会(団体)	東京都 刈谷市体育館 名古屋市中
11日	○第37回全日本女子学生剣道優勝大会	春日井市総合体育館
12月		
13火	▲愛知県高輪音剣道稽古会 枇杷島	10:00
14水		
15木		
16金		
17土	●剣道七段審査会 ○居合道六・七段審査会 △尾南剣道形講習・審査会(初~三段) ※愛知県高校新人体育大会(個人)	枇杷島 東京都 大府市小学校 轟橋
18日	●剣道六段審査会 △尾南剣道家業技審査会(初~三段) △西三河剣道形講習・審査会(初~三段) △東三河剣道美術技審査会(初~三段)	枇杷島 大府市小学校 西尾市武道館 豊橋市
19月	▲剣道合同稽古会 枇杷島	19:00
20火		
21水		
22木		
23金	▲剣道四・五段審査会 藤原市体育馆	13:00
24土	▲居合道・杖道合同稽古会(団体) ※愛知県高校新人体育大会(団体)	藤原 東
25日	●剣道六段審査会 △剣道公道審査員更新審査会 △西三河剣道実技審査会(初~三段)	東京都王子市 中 スカラホール豊田 9:30
26月	●剣道七段審査会 ●教士・騎士称号審査会	東京都足立区 東京都 東京都足立区
27火	●剣道七段審査会 ●教士・騎士称号審査会	9:00
28水	●剣道八段審査会	
29木	●剣道八段審査会	
30金	●剣道八段審査会	

愛知県剣道連盟



題字・故竹田弘太郎名誉会長

広報「観の眼」第四十一号

平成三十年六月一日発行

一般財団法人 愛知県剣道連盟

〒461-0035
名古屋市中村区十三町十一番
二十二号

電話(052)481-1009
FAX(052)481-1009